

洋画の部 入賞作品

※同賞は五十音順で掲載



茨城県知事賞

「よろこび」 高野 明美 石岡市



茨城県知事賞

「雪の朝」 鄭 春子 水戸市



茨城県議会議長賞

「収穫 2019」 田村 洋子 坂東市



茨城県教育委員会教育長賞

「音色」 仲田 恵美子 桜川市



**茨城県保健福祉部
福祉担当部長賞**
「街」 庄司 幸子 日立市



茨城県社会福祉事業団理事長賞
「晩秋の朝」 阿保 亮 東海村



いばらき文化振興財団理事長賞
「日曜日の公園」 山口 百合子 常総市



茨城県老人クラブ連合会長賞
「里の古木」 豊田 順之 北茨城市



茨城県社会福祉協議会長賞
「マテーラを旅して」 櫻井 恵美代 土浦市



佳作

「嵐のあと」 今井 たま 鹿嶋市



佳作

「湖畔のアトリエ」 遠藤 恭子 潮来市



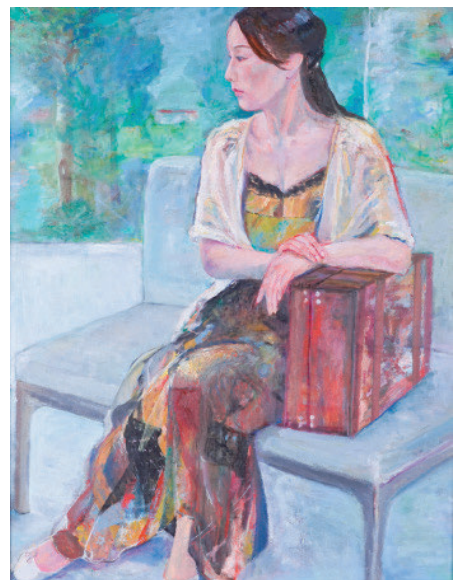
佳作

「河川の雪景色」 岡野 隆男 土浦市



佳作

「秋色」 小原 ミサヲ 土浦市



佳作

「旅情」 濱本 きみ子 石岡市



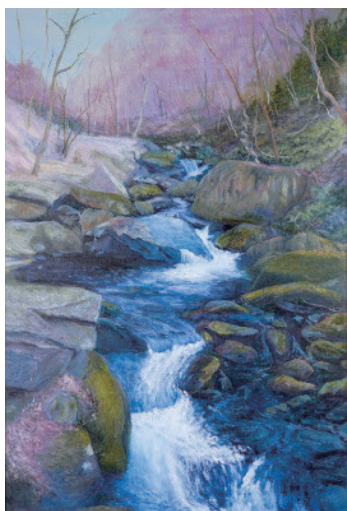
佳作

「花 樹」 早川 恵美子 水戸市



佳作

「南国の想いで」 政川 絹子 日立市



佳作

「待春滝川溪谷」 益子 登美子 大子町



特別賞

「秋麗筑波野」 市村 広勝 下妻市

総評

今年の出品数は187点で、昨年より14点少ない点数となりました。90歳以上の方の出品も8点ありました。素直に表現された具象作品から自由に画面構成された作品まであり、全体に描写のしっかりした色彩豊かな作品が多いと感じました。

選考に際しましては、作品にフレッシュな感動があるか、粘り強く制作された作品であるか、どうかを基準にしました。

県知事賞の鄭春子さんの「雪の朝」は、しっかりした写実に加えて作者独自の世界を作り上げ、力強い作品でした。同じく高野明美さんの「よろこび」は、作者の素直な取り組みと楽しい雰囲気が伝わる暖かい作品でした。他の受賞作品も主題に迫る意気込みや、努力の積み重ねの跡が見られました。

今後の絵画制作にあたっては、制作の意図や感動がはっきり伝わるよう構図と色彩の工夫をして頂ければよいと思います。



茨城県知事賞

「慈愛」 安藤 政藏 常陸太田市

総評

安藤政藏さんの作品「慈愛」は吾子を抱えた母子立像である。穏やかな造形ながら母親の強靭な内面を窺わせる作品で、上軀から下肢につながる動勢がよく表現された優作です。また、今回の応募作品には小品ながらも作者の繊細な表現力と感性の豊かさがあり、創作に対する個々の熱意を感じました。

立体表現において大切なことは、フォルムや構成が《自然の摂理》に因っているか否かということです。「重心がどこにあるか、均衡は保たれているか、表裏の関係はどうか」などです。草木の葉の表と裏、波の表面と裏側など、凸部の反対側は必ず凹の形になっています。人体も同様です。手や足の甲とその裏側、胸と背中、お尻と下腹部など、これらには形の相対性があります。こうした原理を的確に捉えていれば彫刻は「成り立つ」といえます。よく観察した結果は例外なく作品を高めてくれるはずです。次回の作品に期待しております。